

臨地実習（プライマリ・ケアNP）

[実習] 通年 選択 180時間 4単位

《担当者名》○塚本 容子 [yokot88@hoku-iryu-u.ac.jp]
石角 鈴華 [ishizumi-re@hoku-iryu-u.ac.jp]
山田 拓 [yamada_k@hoku-iryu-u.ac.jp]

【概要】

講義・演習で学習した知識・技術を基に、医師のスーパーバイズの下で臨床現場にて実践する。この実習では、ヘルスアセスメント・ヘルスプロモーション・疾病予防に焦点を当てて行う。その中で、特に臨床推論を用いた鑑別診断及びフィジカルイグザミネーションのスキルを向上することを目的とする。同時に、特定行為実施のための基礎的な実践能力を身につけることも目標とする。

【学修目標】

1. 急性・慢性症状をもつ患者に対して、焦点を当てたフィジカルアセスメントを行い、臨床推論を用いて治療マネジメント及び疾患予防に関する治療計画及びヘルスプロモーションのプランを作成することができる。
2. 医療安全の実際について、実習施設の現状を知る

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		<p>【実習内容】 実習の内容は、実習目標到達を目指して以下の項目に焦点を置き実施し、実施した内容を診療録として簡潔にまとめることができるようにする。また、5例のケースレポートを作成し提出する。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 医療面接、フィジカルイグザミネーションを実施し、医師の指導の下、臨床推論を用いて医学的診断、治療計画を立てる。2. ヘルスアセスメント結果を患者に説明、そして今後の治療計画を患者と協働して作成する。3. 1、2について、診療録としてSOAP形式で記載する。 <p>【実習場所】 地域の医療施設</p> <p>【実習期間】 実習日程は課題達成状況と施設の状況により適宜検討するが、期間は4週間から6週間とする。</p>	塚本 石角 山田

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

実習課題の達成状況60%、ケースレポート・プレゼンテーション40%

【教科書】

特に指定なし

【参考書】

随時配布する

【学修の準備】

必要な文献・資料等を熟読しておくこと